

平成27年度 京都市立待賢幼稚園 幼稚園経営方針

＝教育目標＝

「心豊かでたくましく、のびのびと自己を発揮する子どもの育成」

＝目指す子ども像＝

- 明るく素直に自分を表現する子ども
- 思いやりがあり、豊かな心をもった子ども
- 自分の力を発揮しながら遊ぶ子ども

＝研究主題＝

幼児が主体性を十分に発揮して遊び、充実感を味わうための教師の援助や環境の在り方を考える。 ～記録、エピソードの分析から、幼児の育ちを検証することを通して～

＝目指す教職員像＝

- 子どもの命を守りきる意識をもち、子どもの健全育成に全力で取り組む教職員
- それぞれの専門性を発揮し、互いに切磋琢磨しながら、自己研鑽に励む教職員

＝目指す幼稚園像＝

- 地域の中に「待賢幼稚園があってよかった」と子ども、保護者、地域の方々、関係機関の方々から思われる幼稚園

＝経営方針＝

- 学校運営協議会を中核に据えて、「地域とともにある幼稚園づくり」を進める。
- 子ども一人一人に応じた教育を進め、保護者とともに子どもの成長していく姿が見える保育を行う。
- 幼児期の豊かな体験を大切に、親子で共感できる経験の工夫を図る。
- 幼稚園、小・中学校の校種間連携により、子ども一人一人が自尊感情や自己有用感・規範意識を高めることのできる取組を行う。
- 集団での学びや育ちの滑らかな接続を図るために小・中学校や関係機関との連携を大切に、情報や課題を共有し合いながら取組の充実を図る。
- 同年齢や異年齢、地域の方々、リセ・フランセド・京都（関西フランス学院）等との交流の機会を多くもち、様々な人々とのふれあいを大切にする。
- 様々な関係機関との連携により地域の子育て支援センターとしての役割に厚みをもたせ、地域で子育て中の親へのよりどころとなるような取組を行う。
- 「子ども子育て支援新制度」に基づき、預かり保育の充実を図る。
- 自園の取組や教育内容を幼稚園説明会やHP・地域版ポスター等で発信する。